

大型除染システム搭載車の導入について

参事官

1. 導入の背景

地下鉄サリン事件、米国における同時多発テロ、北朝鮮のミサイル発射、英国におけるテロ未遂事件など、近年、テロ等に対する懸念は国際的にも高まっています。特に、北朝鮮による核実験事案に対しては、我が国としても厳格な措置をとることとして、全国の消防本部がテロ等への警戒を強めているところです。

このような状況の中、大規模テロ災害が発生した際には、多数の被災者が発生するため、より大型の除染システムが必要となります。消防庁では、N B C災害に対応するための大型除染システムを整備し、消防組織法第50条の規定により、主要な大都市圏の5消防本部（札幌市消防局、東京消防庁、名古屋市消防局、大阪市消防局、福岡市消防局）に無償使用させているところです。

2. システム概要

大規模なN B Cテロ災害等により多数の方が化学剤等に汚染された場合、救命率の向上等の観点から、早急にその原因物質を取り除くための除染の措置が必要です。また、救助活動にあたる隊員や医療関係者の二次災害の防止のためにも除染が必要となります。

このシステムは、「汚染衣服の脱衣」から「流水等による除染」、「除染後の応急的な着衣」までを、連続して1時間あたり200人以上行うことが可能です。また、温水機能、乾燥機能を備えるとともに、自力で歩行できない被災者にも対応可能となっています。



テント入口

歩行困難者レーン

歩行可能者レーン

3. 諸元表

生地	外 幕 内 幕	材質：ポリエチレンPU 加工色：黄色 材質：ポリエチレンPU 加工色：白色
サイズ	展張時 収納時	H3,600×W3,700×D5,700 (単位:mm) H1,850×W600×D850 (単位:mm)
重量(間仕切り含まず)		約110kg
シャワーライン		3レーン 歩行可能者レーン×2レーン 歩行困難者レーン×1レーン 1レーンにつき固定シャワー×4基 (合計8基)
歩行可能者レーン		ハンドシャワー×3個
歩行困難者レーン		標準シャワー水量 約80ℓ/min (固定シャワー、ハンドシャワー込み)
付属給湯器能力		約40℃ (水温15℃の場合)

4. おわりに

消防庁では、この大型除染システムを搭載する車両を、緊急消防援助隊に登録することにより、全国的な災害対応能力の向上及び緊急対応体制の充実を図っているところです。また、各消防本部等において実践的な訓練を重ねることにより、広域的な救助能力の向上を推進してまいります。



● 6月20日に消防大学校内で行われた「大型除染システム搭載車公開・展示」の様子